

令和2年7月豪雨や令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が頻発していることを踏まえ、五戸川水系でも事前防災対策を進める必要がある。

五戸川流域の特性等に応じて下記の対策を実施することにより、五戸川水系における浸水被害の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・樹木伐採・河道掘削
- ・既存ダムにおける事前放流
- ・土砂災害対策
- ・森林整備・治山対策
- ・水田貯留

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・浸水リスクを考慮した立地適正化計画
- ・盛土構造物の保全

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・円滑かつ迅速な避難のための取組
(ホットライン、タイムライン 等)
- ・被害軽減のための取組
(水防体制の強化 等)



五戸川



八戸市



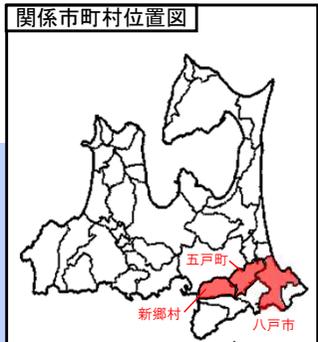
五戸町

新郷村

ハザードマップ



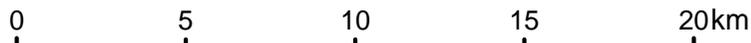
関係市町村
八戸市、五戸町、新郷村



- ①五戸川
②堤沢川
③三川目川

浸水想定区域	
0.5m未満	0.5m～3.0m未満
3.0m～5.0m未満	5.0m～10.0m未満
10.0m～20.0m未満	20.0m以上

市町村界
二級水系流域
二級河川
準用河川
普通河川



※対策の代表箇所を旗揚げしている(全域で取組む対策は省略)。
 ※「伐採・掘削」は該当河川の位置を旗揚げしている。
 ※浸水想定区域は洪水予報河川および水位周知河川を表示している。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

五戸川水系の流域全体を俯瞰し、県、市町村、関係機関等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 【短期】 樹木伐採・河道掘削の集中実施。土砂災害対策の実施。既存ダムの事前放流、森林整備・治山対策、その他ソフト対策等の推進。
 【中長期】 土砂災害対策を完了させるとともに各対策を継続実施し、地域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	樹木伐採・河道掘削	県・五戸町・新郷村	集中実施	
	既存ダムにおける事前放流	県	二ノ倉ダム、又木戸ダム	
	土砂災害対策	県	急傾斜地対策	
	森林整備・治山対策	県・八戸市・五戸町・新郷村・森林管理署・森林整備センター	国有林・民有林	
	水田貯留	県・八戸市・五戸町・新郷村 等	実施に向けた調整・検討	
被害対象を減少させるための対策	浸水リスクを考慮した立地適正化計画	市	見直し検討	
	盛土構造物の保全	県・八戸市・五戸町・新郷村	道路盛土 等	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	円滑かつ迅速な避難のための取組	県・八戸市・五戸町・新郷村・気象台	浸水想定区域・ハザードマップ、ホットライン・タイムライン、防災教育 等	
	被害軽減のための取組	県・八戸市・五戸町・新郷村	水防体制の強化、市町村庁舎等の機能確保 等	

※取組期間について、【短期】は今後概ね5年、【中長期】はその後10年程度。なお、スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。